調査活動／地域での活動

小学校落成式

10月23日（月）、**富士見丘小学校の落成式**に出席しました。

同小学校は、

- 富士見丘中学校（現在改築中）の隣地に移転し、一体的整備を図る
- 都立高井戸公園内の「区立富士見丘多目的広場」を小学校の運動場として活用

する等の特徴があります。

私自身、平成30年～令和2年にかけて行われていた「富士見丘小・中学校改築検討懇談会」を傍聴しておりましたので、新しい校舎には感慨深いものがあります。

現在は、同小学校に隣接する富士見丘中学校の改築が行われておりますので、その状況も議会の一員として、また、地域に住む一人として、しっかりと注視していきたいと思います。

居場所事業

10月19日（木）、**ゆうゆう館(*6)で開催された「子どもの居場所」事業**に、運営スタッフとして参加しました。**今回は、第1回目の開催**でしたが、私の顔見知りの子を含め、複数の子供達が参加してくれました。

(*6)区内に住む、主に60歳以上の方の憩い、いきがい、学び、ふれあい交流、健康づくりの場としてご利用いただく施設。

「家」でも「学校」でもない、**第三の居場所を地域でつくる活動**に、近隣小学校で「放課後子ども教室」を開催している一人として、立ち上げから参加しました。

ゆうゆう館での開催ですので、**世代を超えたつながりづくり**にも結びつきます。現在は月1回の開催ですが、より良い“居場所”となるよう、運営に携わりながら、区政にも活かしていきたいと思います。

防災活動

12月3日（日）、**都立高井戸公園にて行われた「あおぞら防災会議」**に、町会の一員として参加しました。今年は、「かまどベンチ」や「マンホールトイレ」、「防災あずまや」の組立の他、「防災ドローン」飛行実演の見学も行いました。

その他、

- 隣接防災会の防災訓練に手伝い参加（10月21日（土））
- 防火防災協会の一員として、杉並消防署高円寺出張所の視察及びスタンドパイプ活用訓練（10月27日（金））

も行いました。

都立高井戸公園は広域避難場所に指定されており、区議として、そして地元町会の一員として、その防災機能はしっかり押さえておきたいため、今回も参加しました。

本年2月には、所属町会／防災会として防災訓練も企画しております。

常に「いざ」という時に備えて活動し、そこでの学び等を、杉並区の防災施策にも反映していきたいと思います。

次回の定例区議会（令和6年第1回定例会）は、2月9日（金）開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。
FAX：03-3247-8660　もしくは　E-Mail：ikuma@gakushikai. jp

杉並区議会議員（無所属）

岩田いくま　区政報告

第81号（令和6年新年号）

発行：岩田いくま　〒168-0082　杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX；03-3247-8660　E-Mail；ikuma@gakushikai.jp
HP；http://ikuma-iwata.net　（←毎日更新しています！）

岩田いくま（生真）略歴：昭和46年（1971年）生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
令和5年5月より6期目。
趣味：バレーボール（大学時代は母校で部活動のコーチを行う）、読書。
家族：妻、長男（20歳）、長女（18歳）、次男（16歳）。

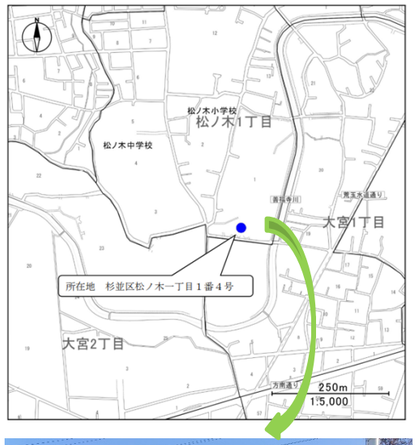
P.1　ドッグランについて
P.2　保健福祉委員会での質疑について
P.3　委員会視察／障害者団体連合会との懇談会／オンライン委員会開催について
P.4　調査活動／地域での活動について

ドッグランがオープンします

～　人と動物の共生する地域社会の実現に向けて　～

令和5年議案第81号「**杉並区立ドッグラン広場条例**」が、昨年12月6日（水）の区議会において、**議員全員の賛成**(*1)により、可決成立しました。

(*1)欠席議員2名を除く。



保健福祉委員会での審査当日（令和5年11月24日）朝の現地の様子（条例可決後、開設に向けて準備が進められます）

区立ドッグランの概要

場所	杉並区松ノ木1－1－4（都立和田堀公園内）
開設時期	令和6年春
施設規模	小型犬エリア（約500㎡）、中・大型犬エリア（約1，000㎡）

利用時間

7：00～19：00（年中無休）
＊年末年始や広場整備時は休業
＊日が短い時期は終わりの時間を早めるなど、季節により変更することを想定

利用方法

登録制（無料・年度更新）

運営　有人（事業者に委託）

（注）利用時間等は、現段階での予定です

「都立和田堀公園への、区立ドッグランの設置」が杉並区議会で話題にのぼったのは、令和2年秋のこととなります。時間はかかりましたが、開設に向けて条例化に至ったことは、良かったと思います。

今後の開設準備及び運営についても、より良いドッグランとなるよう、議会の一員としてチェックしていきたいと思います。

保健福祉委員会

11月24日（金）、私も所属する保健福祉委員会が開催され、議案第81号（P. 1参照）を含めた4本の議案審査と6件の報告の聴取が行われました。ここでは、私が委員会内で行った質疑の一部を取り上げます。

議案審査：議案第83号　杉並区立児童青少年センター及び児童館条例の一部を改正する条例

【岩田いくまの質疑】　＊条例改正の概要

今回の条例改正の概要は。

【区の答弁】

「区立施設再編整備計画」に基づき、阿佐谷南児童館が設置されている建物を解体し、**児童相談所を整備(*2)するため、阿佐谷南児童館を廃止**する。

(*2)杉並区立児童相談所を令和8年11月に開設予定。

杉並区役所東側にある、阿佐谷南児童館が設置されている建物

【岩田いくまの質疑】　＊区長公約との関係

児童館再編の取組は、区長公約を踏まえ、原則として一旦休止としていたが、今回この取組を計画通り進める理由は。

【区の答弁】

阿佐谷南児童館跡地に、出来るだけ早期に児童相談所を整備する必要があることから、計画通り進めることとした。

【岩田いくまの質疑】　＊廃止する児童館の機能移転

廃止する阿佐谷南児童館の機能は、どのように移転・継承するのか。

【区の答弁】

①小学生の放課後等の居場所機能は、新たに杉並第七小学校内で**放課後等居場所事業を実施**する。

②乳幼児親子の居場所機能は、近隣の児童館や子ども・子育てプラザに引き継ぐ他、地域からの要望を踏まえ、**区役所本庁舎内に居場所スペース**を設ける。

【岩田いくまの質疑】　＊その他の取組

その他、地域からの要望についての区の対応は。

【区の答弁】

学校外のスペース（区立施設）を活用し、児童館職員が出向いての居場所事業（出張児童館）をモデル的に実施することを検討している。

区役所や警察署の至近の場所に**児童相談所を整備することは区として重要な政策課題**であり、これまで阿佐谷南児童館が担っていた機能も他の施策で継承されることから、議案に賛成しました（12月6日の本会議で、賛成多数により可決成立）。

また、児童館職員が地域に出向く「出張児童館」は、良い取組だと考えております。

一方で、児童館廃止は現区長のもとで2館目であり、**「児童館の廃止を見直す（児童館は拡充／以前と同じ数に戻すことをめざす）」という区長公約の“軽さ”が、改めて立証**される結果となりました。

報告事項に対する質疑

「杉並区高齢者施策推進計画（案）」及び「杉並区障害者施策推進計画（案）」が報告されました。私は、両者に関わる**「重層的支援体制(*3)整備事業」「共生型サービス(*4)事業所の開設促進」**について、これまでの検討・取組状況や今後の予定について、質疑を行いました。

(*3)区民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するための仕組み。杉並区では令和6年度から実施予定。

(*4) 平成30年度に国が創設した制度で、「介護保険」か「障害福祉」のどちらかの指定を受けている事業所が、もう一方の制度の指定を受けることで、同一の事業所で介護保険と障害福祉のサービスを一体的に提供すること。

杉並区における高齢者人口及び比率は、令和5年は12万191人、21．1%ですが、令和22年には14万5，139人、25．0%になると推計されております。今後は、これまで以上に**「複合的なニーズを支援する仕組みづくり」「住み慣れた地域で住み続けられる仕組みづくり」**が必要になると考えておりますので、実現に向けた取組は、議会の一員として後押ししていきたいと思います。

委員会視察

10月25日（水）～26日（木）、福岡市及び大分県に、保健福祉委員会として視察を行いました。

＜福岡市＞

◆ 福岡市児童相談所について

◆ 里親制度について

◆ 児童相談所と子ども家庭支援拠点について

*（視察目的）*里親への高い委託率等の特徴を持つ福岡市の取組を、杉並区における児童相談所と一時保護所の連携強化、里親家庭への支援策、児童相談所と子ども家庭支援センターの連携強化のための参考とするため。

＜大分県＞

◆ 子どもアドボカシー／子どもアドボケイト(*5)について

*（視察目的）*大分県では、大分大学への委託事業により「子どもアドボケイト養成研修」の実施等を行っており、杉並区における子どもアドボカシーに関する研修等の参考とするため。

(*5)「子どもアドボカシー」とは、子どもの意見を聴きながら、子どもが自らの考えを整理することへの支援や、意見を表明することへの支援を行うこと。この「意見表明支援員」が、「子どもアドボケイト」。

杉並区では、P．2でご紹介したとおり、令和8年度の児童相談所開設に向けた取り組みを進めております。また、令和4年度からは『区政経営計画書』に「子どもアドボカシー」が取り上げられ、私も令和4年3月の予算特別委員会で、どのような取組を行っていくのか等質疑を行いました。

杉並区にとって、**児童相談所設置は新たな、かつ非常に大切な取組**です。議会の一員として、その取組や進捗状況をしっかりチェックしていくと同時に、私自身も知見を深めていきたいと思います。

障害者団体連合会との懇談会

12月12日（火）、毎年恒例となっている「杉並区障害者団体連合会と杉並区議会保健福祉委員会委員との懇談会」が開催されました。

当日は、連合会所属の15団体から予算要望等についてお話いただき、その後、各保健福祉委員会委員から質疑等を行いました。

私自身は、予算要望自体は8月の「会派による政策懇談会」でいただいており、改めて伺う形となりました。

予算要望に盛り込まれていた内容の中では、「障害者緊急時対応計画」について10月の決算特別委員会にて、「共生型サービス事業所」についてP．2のとおり11月の保健福祉委員会にて、私自身取り上げております。

「当事者の生の声を聴く」「現地に足を運ぶ」ことの大切さは、インターネット社会となっても変わりませんので、こうした機会は今後も大切にしていきたいと思います。

オンライン委員会開催

12月5日（火）、**杉並区議会では初となる「オンライン委員会」を、DX・議会改革に関する特別委員会にて実施**しました。

私自身、オンラインでの会議等は何度も行っております。しかし、今回は正式な委員会での初めての実施ということから、

- 事前の正副委員長による打合せ
- どの委員がオンライン参加を行うか（今回は、オンライン参加委員と委員会室での参加委員を半数ずつとしました）

等に注意を払い、また、前日の議会事務局による準備にも立ち会いました。

委員会室の副委員長席にて、オンライン参加委員から不具合等の合図がないかをモニターでチェック

当日は、委員会室での音声がオンライン参加委員にとって聞き取りにくい場面等が生じましたが、無事に実施することが出来たと思います。

今回の反省点も活かし、より良い委員会運営が出来るよう、議会の一員として取り組んでいきたいと思います。